

## トピック

- 東方経済フォーラムで国家プログラムの「極東セクション」を紹介する
- ロシア大統領は極東へ外国人入国の特殊規則を制定した
- ロシア極東で新しい企業が50始動する



## 東方経済フォーラム関連ニュース

2017年3月24日 コムソモリスカヤ・ブラウダ紙

### 「極東1ヘクタール」開発に関わる一番いいアイデアを東方経済フォーラムで紹介

人材育成局は、「極東1ヘクタール」プログラムで取得された土地の効率的利用に関わる一番いいアイデアを募集するコンテスト開催を発表した。優勝者たちは、ウラジオストクで9月6～7日に開催される第3回東方経済フォーラムで自分のプロジェクトをプレゼンする機会を得てくる。同局がアイデアを募集するのはすでに二回目で、去年500以上の応募作品はエキスパートによる検証を受けた。その一部は、土地開発ビジネスプラン作成の規格サンプルになった。

<http://www.kp.ru/daily/26657/3678557>

2017年3月17日 Lenta.ru

### ユーリ・トルトネフ副首相、インドのパートナーをEEF 2017に招待

インド実務訪問中、Y・トルトネフ副首相は、インドのスシュマ・スワラージ外相と会い、インド業界との円卓会議に参加、極東地方で大規模プロジェクトの実現に関心を寄せる大手企業の幹部と会談した。さらに副首相は、インドのパートナーたちを第3回東方経済フォーラムに招待した。

[https://lenta.ru/news/2017/03/17/india\\_diamonds](https://lenta.ru/news/2017/03/17/india_diamonds)

2017年3月13日 Forumvostok.ru

### 第3回東方経済フォーラムで国家プログラムの「極東セクション」を紹介

フォーラム参加者は極東の優先発展を目指すプログラムを政策の知識を得ることができる。国家プログラムの特別セクションを紹介するのは、極東に関連がある省庁

だ。A・ガルシカ極東開発大臣によると、国家プログラムにおける特別セクションの内容は直接地域の知事と審議され、第一義的に重視するのは、教育、保健、スポーツと文化の開発、建設、架橋の再建、エネルギーインフラの近代化、農家の実践的支援だ。

2017年1月1日からは27の国家プログラムに極東地域の社会経済発展に関するセクションの追加が義務付けられる。「極東セクション」は国家が資本に参加する企業の発展プログラム、投資プログラムにも現れる予定。

<https://forumvostok.ru/na-tretem-vostochnom-ekonomicheskom-forume-predstavyat-dalnevostochnye-razdely-gosudarstvennyh-programm/>

2017年3月13日 Deita.ru

### 極東の地域を東方経済フォーラムのプログラム作成に参加させる。

EEF 2017ビジネスプログラム構成の作成は終わりに近い。プログラムは、極東の各地域で見られるすべての肯定的な変更を描写すべき。極東投資誘致・輸出支援局のL・ペトゥホフ長官は地域当局に、フォーラムビジネスプログラム作成に参加すると同時に、EEFの場を投資家との実践的協力のため活用するよう助言した。

ご承知のとおり、東方経済フォーラムの枠内で、地域が自分の投資先としての潜在力を紹介できるいくつかの場を設ける予定。

<http://deita.ru/news/crazy/13.03.2017/5190232-regiony-dalnego-vostoka-podklyuchat-k-delovoy-programmt-vef>

2017年3月3日 RIAノーボスチ

### ウラジーミル・プーチン大統領、東方経済フォーラムの文化プログラムに柔道大会を加えるよう指示

その指示は、学生・青年組織リーダー会合の結果与えられた。全日本柔道連盟の山下泰裕氏の名を冠した大会を2017年よりEEFプログラムに含み、13～15歳の青年が技を競う予定。<https://ria.ru/sport/20170303/1489254449.html>

## ロシア極東地域の国家政策

2017年3月29日 Forumvostok.ru

### 国際北極フォーラムで ロシアと中国、極東協力を審議

ロシア政府D・ロゴジン副首相と汪洋中華人民共和国国務院副総理（副首相）は、アルハンゲリスク市での会合で、北極圏の開発見通し、北極海航路の合同使用ならびに、エネルギー面、核分野と民間航空での総合協力を審議した。双方は、ロシア政府が投資家支援の質的に新しい装置を作り出すことも指摘した。たとえば、極東地域で導入されたビジネス支援のための特恵環境整備は中国の企業にも求められている。現在先行発展領域と自由港制度が導入されている5つの地方で中国の投資家は投資総額ほぼ30億ドルのプロジェクトを20案件以上実施している。

<https://forumvostok.ru/na-mezhdunarodnom-arkticheskoy-forume-rossiya-i-kitaj-obsudilisotrudnichestvo-na-dalnem-vostoke>

2017年3月29日 PrimaMedia.ru

### 極東で、鉱業、インフラ、建設プロジェクト投資基金を創立

しかるべき覚書に極東開発基金と「Metropol」社が調印した。

2017年、各基金の予算は10億米ドルになる予定。その内、極東開発基金の出資は10%で、アジアのパートナーが80%、ロシアの投資家が残りの10%を出資する。これらの基金は、金採掘に関するプロジェクト15件、金・銅の採掘に関する巨大プロジェクト2件、さらに新設されるインフラと観光施設の整備に関するプロジェクト7件に出資するとみられる。

<http://primamedia.ru/news/579513>

2017年3月16日 RIAノーボスチ

### ロシア人は「極東1ヘクタール」の取得を狙うほぼ74000件の申請書を提出してきた。

2017年2月1日、ロシア連邦の各市民に、極東地域で土地を取得する権利を与える法律実施の第3段階が始まった。今までは7600以上の方が土地を無料に取得した。土地の需要が一番高い地域は、沿海地方、ハバロフスク地方、サハリン、サハ共和国だ。申請者の大部分は、土地を自宅建設および農業と観光用地として活用する構え。現在、農家になりたい人への補助金、シード材料購入に必要な費用の埋め合わせからあらゆる設備購入に必要な費用の埋め合わせまで、合計35の「極東1ヘクタール」持ち主の支援策がある。

<https://ria.ru/society/20170316/1490159979.html>

2017年3月7日 EastRussia

### ロシア大統領、外国人入国の特殊規則を

V・プーチン大統領は極東における簡素化された外国人入国手続きに関する法案をサインした。法によると、外国人は自由港制度が適用されている極東地域五つの海港の一つ（沿海地方、ハバロフスク地方、サハリン州、チュコトカとカムチャツカ両半島）で入国を済ませることができるようになった。ビザ取得には外国人がロシア外務省の特種ホームページで申請書を記入する。イエスの返事の場合ビザを直接ロシア国境検問所で発行する。申請書審査期間は四日以内、その有効期間は発効日から30日以内、ロシア滞在期間は八日間まで。注目すべきなのは、ビザの取得が無料だ。

<http://www.eastrussia.ru/news/prezident-rossii-ustanovil-osoby-poryadok-vezda-inostrannykh-grazhdan-na-dalniy-vostok>

## ロシア極東地域の経済状況

2017年3月15日 「ロシアスカヤ・ガゼータ」紙

### ロシアとベトナム、2020年まで貿易量を三倍

ロシアとベトナムの協力は活性化し、両国が重視するのは、二カ国貿易・投資協力だ。両国は2020年まで貿易高を百億ドルまで増やす構え。発展の主な推進力にな

りえるのがロシア極東地域だとベトナム訪問中ユーリ・トルトネフ副首相が強調した。

ベトナムのチン・ティン・ズン副首相は、ロシアとの協力の関心を確認し、関係ある省庁にロシアとの協力活性化を求めた。副首相によると、ベトナム業界はまず造船、有用資源採掘、木材および水産物の加工に関心を寄せる。

<https://rg.ru/2017/03/15/vetnam-i-rossiia-k-2020-godu-uvlichat-tovaroborot-vtroe.html>

2017年3月13日 「ロシースカヤ・ガゼータ」紙

### 極東で新企業が50始動

2017年末までロシア極東でほぼ4500人の雇用を創出する新企業が50以上始動する。投資家は事業提案に600億ルーブルを出資する予定。

先行発展領域のテナントになった人との協力を最適にするため、極東開発省、投資家、地域当局がアクセスを持つ投資プロジェクト統一データベースを構築する予定。そのシステムは各プロジェクト実施のてきぱきした管理を確保する。完成したポータルを9月6～7日ウラジオストクで開催される東方経済フォーラムでプレゼンする予定。

<https://rg.ru/2017/03/13/reg-dfo/v-2017-godu-na-dalнем-vostoke-poiavitsia-50-novyh-predpriatij.html>

## 極東発展を目指すの新しい装置——成功の実例

2017年3月20日 InterFAX

### 「JCGエバーグリーン」「ハバロフスク」先行発展領域で温室建設第二段に取り組み

野菜を栽培する新しい相互施設は2017年の9月に創業を開始する予定。面積2.3ヘクタールの温室でトマトときゅうりを栽培する。年間野菜栽培量は2000トンになる。第二段の建設費は500百万ルーブルだ。そのうえ、日本の企業は、地方当局から医療サービス、木材加工、食品産業プロジェクトにも参加する招待を受けた。

<http://www.interfax-russia.ru/FarEast/print.asp?id=818085&sec=1671&type=news>

2017年3月20日 InterFAX

### コムソモリスク・ナ・アムーレで工業団地を設ける予定

「コムソモリスク」先行発展領域の新しいテナントである「『パルス』工業団地」社は、極東開発公団と当該の協定を署名した。投資家は、面積12.3ヘクタールの敷地に航空機製造、造船、石油採掘設備、省エネルギー機器と設備を専門にする企業の統一クラスターを設ける予定。プロジェクトの投資総額は175百万ルーブルになる。2026年まで団地でほぼ十社のテナントが操業を開始すると考えられている。

<http://www.interfax-russia.ru/FarEast/news.asp?id=816316&sec=1679>